



2024 年 5 月 8 日

報道関係者各位

dsm-firmenich AG
明治ホールディングス株式会社

メタン削減飼料「Bovaer®(ボベアー®)」による、 酪農のサステナビリティ向上に向けた協業を開始

dsm-firmenich AG (CEO: ディミトリ・ドゥ・フリーズ・以下、DSMF) ならびに明治ホールディングス株式会社 (代表取締役社長 CEO: 川村 和夫・以下、明治 HD) は、このたび Bovaer®を利用した酪農分野の温室効果ガス(GHG)削減に関する MOU(基本合意書)をアジアで初めて締結し、協業を開始しました。

昨今、地球温暖化が社会問題となっており、その原因として GHG が挙げられます。酪農業においては、主に牛の消化管内で発生するメタン(一般的に「ゲップ」に含まれるメタン)が代表的であり、環境への影響も大きい GHG であることが分かっています。

Bovaer®は、DSMF が 10 年以上の年月を費やして研究、開発した、乳牛、肉牛、羊、ヤギなどの反すう動物向けの飼料添加物です。牛 1 頭 1 日当たり、小さじ 1/4 杯の Bovaer®を与えることで腸内メタンの排出量を約 30%削減できます。

Bovaer®は既に世界 58 カ国で乳牛、肉牛に対する飼料添加物としての使用が承認されており、牧場における給与も開始され、呼気メタンの削減に貢献しています。日本では現在、飼料添加物の登録申請中であり、関係省庁において審査が進められています。

DSMF と明治 HD は日本での Bovaer®の飼料添加物登録を念頭に、日本の酪農現場において酪農家が Bovaer®を使用することで、酪農業における GHG 排出量が実質的に削減される状況を目指す取り組みの検討を開始しました。この検討を通じ、持続可能な酪農業の実現に貢献していきます。

【参考情報】

- ・ [dsm-firmenich] The proven solution for methane reduction (英文)
<https://www.dsm.com/anh/products-and-services/products/methane-inhibitors/bovaer.html>
- ・ [明治 HD] 酪農乳業を、もっと持続可能に。
持続可能な酪農乳業を目指し、明治グループは「酪農家支援」「地域貢献」「環境負荷低減」の3つの領域でアクションを推進します。
<https://www.meiji.com/sustainability/dairy/>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

DSM 株式会社 アニマルニュートリション事業本部
TEL：03-5425-3752 FAX：03-5425-3775
メールアドレス：DSM-Japan.ANH@dsm-firmenich.com

明治ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
TEL：03-3273-3917 メールアドレス：mhd-pr@meiji.com